


平成 28 年度第 2 回草の根育成助成成果報告交流会報告

〔作成日〕平成 29 年 5 月 25 日（木）

〔報告者〕長谷方人

用 務	平成 28 年度第 2 回草の根育成助成成果報告交流会
場 所	府中市 多摩交流センター
期 間	平成 29 年 5 月 20 日 13:30～18:00
目 的	平成 28 年度草の根育成助成を利用された各団体から、この一年間の活動成果を報告プレゼンテーションしてもらい各団体の今後の事業展開の一助となることを第一の目的とした。また、この機会をとらえて異業種の活動が触発され、団体間の協力が始まることを期待した。
所 感 (総 括)	<p>参加団体数は今年の助成先 11 団体のうち 9 団体で、発表者は 8 団体であった。当日、不参加の団体はそれぞれ日常すでに予定された事業活動の運営に当たり、この時間に現地へ参集いただけなかったのは、残念ではあったが喜ばしいことでもあった。</p> <p>プレゼンテーションは、当財団事務局の山本が司会を担当し各自 15 分の持ち時間で発表と質疑応答の時間割で進められ、コメンテーターとして当財団理事で一橋大学名誉教授の早川武彦と当財団代表理事の長谷方人が参加した。</p> <p>発表内容から、いくつか共通した団体運営上の課題が浮かび上がり“活動を継続していくには後継者が重要”“けん引してきた役員が高齢化”という声が、会場のあちこちで聞かれた。下にある写真のようにレイアウトされた会場だったので、席の両隣や向かい側の参加者とも会話しやすかったことも幸いしたようである。</p> <p>報告会終了後、京王線府中駅近くの別会場で交流会を開いた。報告者の中から交流会まで参加されたのは 6 名と少人数ではあったが、身近に互いの率直な意見交換ができたようで、「今度、私のところの勉強会で講師を引き受けてくれませんか」といった出講交渉も行われていたようである。引き続き、平成 29 年度の草の根育成助成にあってもこの報告交流会は有用と考えられたので、実施したい。</p>
報告団体	<ol style="list-style-type: none"> 1 NPO 法人 VIVID 2 NPO 法人稲城なごみの家 3 ヤミークラブ 4 NPO 法人言語障害者の社会参加を支援するパートナーの会 和音 5 調布市ハンドボール連盟 6 一般社団法人ヴィフ (PPT 原稿はなし) 7 Womalth Power 8 NPO 法人ファミリーステーション SACHI
会場風景	 <p style="text-align: right;">プレゼンテーション</p>